

高緑の風

No. 18

千葉県立市原緑高等学校

0436 (75) 0600

●新生強歩大会実施

5月1日（金）、第31回強歩大会が行われました。この行事は全校生徒が10kmほどの行程をお互い励まし合いながら歩き抜き、精神力を養いクラスの親睦を図ることを目的とした市原緑高校伝統の行事です。しかし、平成23年3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、津波被害が懸念される従来の九十九里沿岸のコースからの見直しが必要となり、ここ数年は暫定的に別の行事を行い、この間、並行して新しい行事の研究・検討を続けてきました。

これらに基づき、今年度は佐貫町駅前を出発し、鹿野山の林道を経て、マザー牧場をゴールとするコースへと一新し、実施しました。3年生↓2年生↓1年生の順に出発し、先頭を校長先生とスポーツ健康コースの3年A組が意気揚々と歩き、他の生徒を頼もしく引っ張ってくれました。普段、このような長い距離や急な山道を歩いた経験のない生徒は辛く苦しい場面もあったことと思います。そのようなときは、「大丈夫？」や「頑張



頑張って林道を歩きました

張ろう」という声を掛け合ったり、背中を押してあげたりなどと仲間を気遣う様子が多く見られたのがとても印象的でした。マザー牧場にゴールした後、班ごとに分かれて昼食としてギンギスカン料理を食べました。好天の中を長い時間歩いたこともあり、お肉の味も格別だったようです。大いに会話が弾んでいるグループもあり、さらにクラスメイトとの親睦を深めることができました。最後に、みどりの広場にて解散式が行われ、その際、多くの生徒の表情に疲労の中にも充実感や達成感が浮かんでいました。

この強歩大会を良いきっかけとして、困難なことにチャレンジする心や他者を気遣う心を持つて普段の学校生活を送っていくことを期待しています。

「生徒の声」

- ・歩いているコースがとてもものどかで歩きやすく気持ちよかったです。
- ・辛かったけど、友達も一緒だったし、その後の達成感が大きかったです。



バーベキューをおいしく食べました

●生徒総会実施

5月28日（木）、6限の時間を使用し、本校体育館において生徒総会が行われました。生徒会と委員会が活動方針を示した後、生徒会の決算報告や予算案の審議が行われました。当日はあいにくの蒸し暑い気候でしたが、静かな雰囲気の中、生徒は自分たちの代表の発表に、真剣な眼差しを向けて傾聴していました。

生徒会長は、「生徒総会では、一人一人が真剣に話を聴いていて、とても良かったと思います。しかし、各クラスからの要望を出してもらうところでは、少し残念な面もありました。活発に意見が出なかつたからです。生徒がより過ごし易い学校生活を送るためにも、もっと積極的に意見を出してほしかったです。」と話していました。

静かで真剣な環境の中で行われた生徒総会の次の目標は、更に内容を充実させていくことです。そのために必要なことは、一つ目に、各クラスからの真摯な意見を数多く吸い上げること。そして二つ目に、その意見を建設的な要望として生徒がブラッシュアップし、学校に伝えること。そして三つ目に、生徒全員が、こうして出した要望に責任を持ち、「学校をより良くしよう」と母校愛を持って、できることから行動していくこと。より良い会を目指すには、これらが必要です。今後益々レベルを上げよくなっていく市原緑高校の各種取組みに、是非ともご期待ください。

●一日一善を

4月19日（日）国道297号線近くの道で、自動車とバイクの衝突事故があり、バイクから投げ出された男性が、頭から血を流していました。部活動帰りに通りかかった本校サッカー部の1年生9人は、被害者男性をタオルで応急救置するとともに、救急車を要請したり、倒れたバイクを道に寄せるなどの対応もしました。後日、被害者から連絡があり、感謝の言葉が述べられました。いづどんな時でも困った人がいたら助けの手を差し延べることでできる心をもっていたいものです。なお、学校では善行を行った生徒に対して「グリーンカード」を発行しており、1年生9人に対しても、学年集会でグリーンカードを発行して大いに称えました。

●部活動の結果

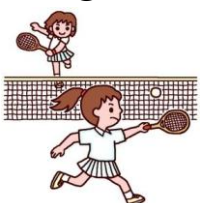
4月の下旬から5月上旬にかけて、関東大会の地区予選等が行われ、市原緑高校の各部活動が輝かしい成績を収めました。

【ソフトテニス部】

関東大会地区予選
団体戦 第3位
個人戦 ベスト8（小田川・山本ペア）

【柔道部】

市原市民大会
団体戦 準優勝
個人戦 高校生の部優勝
（秋元正毅）



部活動の結果

四月の下旬から五月上旬にかけて、関東大会の地区予選等が行われ、市原緑高校の各部活動が輝かしい成績を収めました。

【ソフトテニス部】

関東大会地区予選

団体戦 第3位

個人戦 ベスト8（小田川・山本ペア）

【柔道部】

市原市民大会

団体戦 準優勝

個人戦 高校生の部 優勝（秋元正毅）

皆さん、こんにちは。いつも本校を応援していただき、ありがとうございます。お陰をもちまして、本校が**大変な勢いでよい学校**になってきています。地域の皆様、保護者の皆様、そして、生徒諸君に、重ねて心より感謝の思いを申し述べます。この勢いは、一万分の一の難関で栄に浴した先の**文部科学大臣表彰**、自然体で善行を重ねて**感謝される生徒**の実態、「**新生**」**強歩大会**を成功裡に導いた教職員、応援してくださる方々など、たくさんの皆様の応援の賜物です。心弾む思いです。生徒や本校は、**もっと良くなっています**。

そうした本校の**生徒の活躍振り**や学校としての取組の一端を、HPだけでなく、**広報誌「緑の風」誌上でも**お知らせしたいと、職員が考えてくれました。月一回の発行を目標に頑張りたいと張り切っています。誇らしく頼もしく思っています。

先人からの努力と、瑞々しい高校生活を送る現役生徒たちの頑張りとで**耀く緑高校**。そうした一齣一齣を皆さんと共有し、生徒と保護者とが、本校で学んで幸せだったと思っていただけるよう、生徒・保護者・職員一丸となって取り組んでいきたいと意気込んでいます。地域の皆様の一層の御支援を願ひ上げ、感謝とお願ひの御挨拶を申し上げます。